

教頭 小口 俊幸

朝練に取り組んでいる運動部の生徒のはつらつとした声を聞きながら校舎に入ると、今度は、音楽系クラブのさわやかな音色が私を迎えてくれます。

こうして私の一日が始まります。

授業中廊下を歩いていると、そこには、静かな中に真剣に授業に取り組んでいる生徒の姿と、一生懸命生徒に語りかけている先生の姿があります。

放課後になればクラブ活動に、また生徒会活動に頑張る生徒の姿があります。

課題はもちろん多々ありますが、弥生ヶ丘の学校生活は順調に推移してきていると思われま

す。同窓の皆様には、日頃より本校の教育に深いご理解と、ご支援をいただいておりますことに感謝申し上げます。

“伝統的校風である「自主自律」「文武両道」の精神のもと、文化や社会の担い手として、全人的教養とともに、理性的判断力、豊かな創造力をそなえた人間を育てる”という教育目標のもと、日々の教育を推進しているところです。

特に平成21年度には

- 「生きる力・社会人としての自覚の育成」
- 「授業の充実と学力向上」
- 「個々の進路目標の実現に向けて」

という三つの重点目標のもと、教育活動に取り組んでまいりました。

本校に入学した生徒が、各自の進路目標を定め、そして必要な学力をつけ、目標を実現して、さらに社会人として必要な資質を身に付け、卒業していくことを願っているのですが、なかなか容易なことではありません。

例えば、本校生の大きな課題の一つは「学力向上」です。

日々の授業を大事にしつつ、土曜講座や補習、またウイクリーテスト等を実施し、学力向上を図っていますが、これに加えて、教育環境の整備といったハード面での充実が図られれば、学力向上を通じて、生徒個々の進路目標が、一層実現されていくと思われま

残念ながら、今本校では、生徒が勉強する自習室が十分確保できていません。

特別教室の一部を、放課後の自習室としていますが、落ち着いて学習する環境にはありません。

また進路ガイダンスや、講演などを、ある程度の人数で聞ける部屋がありません。体育館や格技室等を利用していますが、授業の調整が必要であったり、冬場は寒く機能的ではありません。

生徒が落ち着いて自習でき、ガイダンスや講演会等で利用できる多目的教室の整備は、是非とも実現をしたいものであります。

また、全人教育にとって大事なクラブ活動では、例えば、吹奏楽部では、楽器の多くが借り物である状況です。

生徒自らが、そして教職員が、今まで以上に努力していくことは、当然のことではありますが、教育環境の整備が図られていけば、一層の飛躍が期待できます。

皆様のお力をいただければ幸いです。